

# 算数科学習指導案

日 時 平成 26 年 7 月 9 日 (水)  
 場 所 2 年 2 組 教室  
 学 級 男子 12 名、女子 9 名 計 21 名  
 授業者 原田佐智子

## 1、単元名 1000 までの数

### 2、単元の目標と評価計画

1000 までの数の読み方、書き方を理解する。10 や 100 を単位とする数の相対的な見方に基づく加減計算ができる。

関心・意欲・態度	1000 までの数について、数え方を工夫して数えようとしたり、十進位取り記数法の良さに気づくことができる。
数学的な考え方	100 までの数と同じように、1000 までの数の大きさを 10、100 などを単位としてそのいくつ分とみたり、大きな数の加減を 10、100 を単位にして計算することができる。
技能	十進位取り記数法のしくみをもとにして、1000 までの数を表したりよんだりできる。また、1000 までの数の大小を比べることができる。
知識・理解	1000 までの数の表し方やしくみを説明することができる。

### 3、単元に関わる子どもの実態

意欲的に学習できる子どもたちが多い。足し算の筆算では、一の位が繰り上がるのは全員それほど抵抗なくできた。しかし繰り下がりのある筆算を初めてやったときは、一の位が引けないとき、どうするか分からずに計算ができなかった児童が半分ぐらいいた。既習事項の「 $21 - 8$ 」を元にどうしたかを思い出してから取り組むと、その半分の子どもたちも十の位から借りて、10 の束をくずして計算すればできるということに気づくことができた。しかし、何名かは具体物を使いながら個別に支援して、計算の仕方を理解していた。

何名かの児童は、学習の内容を繰り返すことで内容が定着するが、始めは具体物を使って、個別に支援することが必要であると思われる。

### 4、単元の展開

小単元	時	目標	学習活動
1000 をこえる数	1	・ 3 位数を数字で表したり、構成を説明したりできる。	・ 「三百六十五」について、3 位数の表し方を知る。 ・ 3 位数の仕組みを考える。
	2	・ 空位のある 3 位数を数字で表したり、構成したりできる。	・ 「二百八」について、空位のある 3 位数の表し方を知る。 ・ 空位のある 3 位数の仕組みを知る。
	3	・ 10 を単位にして、数の相対的な大きさをとらえることがで	・ 10 を 24 個集めるといくつになるかを考え、10 を単

	きる。(本時)	位とした数の構成についてまとめる。 ・10を単位とした数の分解についてまとめる。
4	・1000という数を知り、その構成や数の系列をとらえることができる。	・星を100ずつ線で囲む。 ・100を10個集めた数1000を知る。 ・1000の構成や系列を考える。
5	・1000までの数の系列や順序を理解することができる。	・1目盛りが10の数直線を見て、650、340、990はどこになるかを考える。 ・数の系列についての練習をする。
6	・3位数の大小を比較することができる。	・各組の得点をよみ、大きさ比べの仕方を考える。 ・不等号を使って数の大小を表す。

## 5、本時案

### (1) 主眼

3位数や空位のある3位数を表したり構成できるようになった子どもたちが、10を単位にして、そのいくつ分になるかを十円玉、百円玉を使う、絵に描いて考える等の算数的活動を通して考えることで、数の相対的な大きさをとらえることができる。

### (2) 本時の位置

6時間中の第3時

前時 空位のある3位数を数字で表したり、構成したりする。

次時 1000の構成や系列を考える。

### (3) 展開

過程	子供の活動： 	教師の活動： 	特別支援の視点から ○：全体の支援 ●：個別の支援
つかむ・見通す	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">           学習問題 10を24こあつめた数はいくつですか         </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           どうすればこの問題が分かりそうですか。         </div>		○既習事項を元に手立てを確認させる。  ○一つのやり方ができたら、別のやり方で

